

なるほど健康講座

『ポケットエコー  
(携帯型超音波診断装置)について』



ハーモニークリニック  
内科 市川 聡 子

これまで検査室でしか受けることのできなかつた超音波(エコー)検査が、もっと手軽に、場所を選ばずに行えるようになりました。ポケットエコー(携帯型超音波診断装置)という、文字通りポケットに入るサイズのこのエコー機器は、軽くて持ち運びがしやすいため、診察室や往診先での検査が容易となり、全国的にも注目が集まっています。今回のなるほど健康講座では、ポケットエコーについて、検査室でのエコー検査との違いや、この機器を使った検査の実際についてお話しいたします。

パソコンが、デスクトップ・ノート型パソコン・タブレット・スマートフォンなど、使う目的によっていろいろな機器が登場したように、エコー検査も目的によって検査の機器を使い分ける時代になってきました。

検査室で行うエコー検査は、「診断」を目的としており、臓器の細かい状態をくま

なく観察・確認し、病気の有無を判断するのに適しています。機械が非常に重く、また、検査の準備に時間がかかるため、ポケットエコーのようにその場ですぐに検査して病状を確認することには適していません。もちろん重くて持ち運ぶことができないため、往診先では検査ができません。

一方、ポケットエコーは、持ち運びが簡単で、検査の準備にも時間がかからないため、聴診器の様にぱっと体に当てて検査を始めることができます。スマートフォンのような小さな画面のため、体の中をくまなく検査することには向いていませんが、医師の手を使った触診や聴診器を使う聴診に加え、ポケットエコーを使った「視診」が加わることで、今の患者さんの状態をより把握しやすくなります。

例えば、昨晩から尿が出ない、という患者さんを診察する際に、下腹部にぱっとポケットエコーを当てることで、膀胱の中には尿が溜まっているけれども排尿できない状態か、あるいは尿がつくられていない状態かがすぐに分かり、処置や治療がすばやくできるようになります。また、往診先で腹水・胸水が溜まっていないかどうかを確認したり、心臓の動きかたや肺の状態を見て息苦しさの原因を検討することも可能です。胃瘻チューブや尿道カテーテルなどの

位置を確認することも簡単にできる様になりました。

ハーモニークリニックでは、今年4月からポケットエコーを導入し、院内で研修会を行っています。手軽に検査ができるメリットを最大限に発揮し、よりよい診療につなげられるようにポケットエコーを利用していききたいと思います。



表紙写真紹介

- ① 中島所長と利用者さん
- ② 8年のときを超えて  
(ふれあいホームページにてご紹介)
- ③ 地域包ケア基礎勉強会
- ④ 訪問看護実習  
(学生さんと指導看護師)